

投光器 学習版

国労東海貨物協議会
2013年7月25日 No.38
発行責任者 鈴木 和巳

周りを変えるため自らの意思を示そう！

参議院選挙は自民党の圧勝となりましたが、これで世の中がどのように変わると予想しますか？選挙期間中も原発再稼働や憲法改正、TPPや景気回復策など様々言われてきましたが、果たしてアベノミクスで景気が良くなるのか？

今後は争点になっていた部分がどの様になっていくか注目し、果たして今回の結果が良かったのかどうかを検証しなければなりません。何より我々労働者の意見が圧殺されないよう注意する必要がありますね。



皆さんは選挙に行きましたか？



しかしながら納得がいかないのが約56%程度と低い投票率です。マスコミなどの前評判から「自分が投票しなくても結果は見えている」とか「どこが勝っても変わらない」とか、色々な意見があると思いますが、高齢や病気で選挙に行くこともままならない等の理由が有るならともかく、現在は期日前投票も長期間設定されています。

成人して選挙権が与えられ、世の中を変えうることが出来る1票を無駄にすることは感心できません。今回もあと20%投票率が上がり、その半分でも反自民・非自民に票が流れればもう少し違う結果が出ていたと思われれます。何はともあれ、選挙により国の向かう方向が変えられるということを肝に銘じておきたいものです。



要求実現のために行動しましょう！



また、選挙のみならず、何かを変えるためには自らの意思で行動しなければなりません。まさしく組合運動においても同様です。人頼みにせず自らの要求実現のためには組合を通じ要求実現のため努力をする必要があります。

貨物労働者の切実な要求といえばまず賃金だと思いますが、14年連続のベアゼロ、史上最低の夏季手当を見たとき、黙っていれば会社が与えてくれるなどと思うと大きな間違いです。賃金のみならず職場環境や様々な労働条件なども、まず声を挙げて改善を訴えなければ労働者の要求は会社に伝わりません。

酷暑の中、過酷な環境下で働いている貨物労働者の労働実態・生活実態を振り返り、どこをどのように改善させたいかを要求として会社にぶつけ、その改善を迫ることこそ必要です。

青年の皆さん、国労に入って労働条件改善に向け頑張ってください！

この投光器学習版は国労東海本部のホームページにも掲載されています。

国労東海本部のURLは <http://www.kokurotokai.com> です！